

自分たちの町は自分たちで守る

嵐山消防団 No.28

団長あいさつ

嵐山消防団 団長 千野 晃男



嵐山町民の皆様におかれましては、日頃より消防団活動に深いご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。この場をお借りしましてお礼申し上げます。

さて平成が幕を閉じ、新たな時代を迎え記念すべき時代の幕開けとなりました。嵐山消防団も新年度に5名の新入団員を迎え、新たなスタートを致しました。

新たな時代へのチャレンジとして、「自分たちの町は自分たちで守る」を合言葉に、日頃か

平成31年度 新入団員を 紹介します

今年度は5名の若き精鋭が入団しました。地域防災の要として、町民の安心・安全のため活動していく嵐山消防団の新しい仲間を紹介いたします。(敬称略)

第1分団第2部

栗田 誠

(くりた まこと)



第1分団第2部

内田 真弥

(うちだ まひろ)



第2分団第2部

八木原将史

(やぎはら まさふみ)



第2分団第2部

大澤 亮太

(おおさわ りょうた)



団本部

新井 良美

(あらい よしみ)



退団者の皆様、大変お疲れ様でした

多年にわたり、消防活動に貢献された退団者の皆様です。これまで長きにわたりご活躍いただき、本当にお疲れ様でした。ありがとうございます。

第1分団第2部

守山 正人

菰原 健

第2分団第1部

市川 明

田村 和博

第2分団第2部

市川 優雅

市川 優雅

新分署長あいさつ

嵐山分署長 石川 和男



本年、4月1日付で小川消防署嵐山分署に、分署長として就任しました石川と申します。

嵐山町民の皆様には平素から消防行政の推進に、深いご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、平成20年度より、全ての住宅に火災警報器の設置が義務化されていますが、昨年度は比企広域管内で多数の火災による死者が発生しました。その殆どが「逃げ遅れによる死者」であり、住宅用火災警報器を設置していない住宅ばかりでした。

私達、消防職員はこの住宅用火災警報器の設置こそが住宅火災による死者を減らす切り札であると考え、嵐山消防団と協力

比企支部合同の消防出初式

1月6日、東松山市立松山第一小学校の校庭において、比企支部(嵐山町、滑川町、東松山市、吉見町、小川町、ときがわ町、東秩父村の各消防団及び消防署)合同の出初式が開催されました。

当日は晴天の中、出場部隊の行進を行い、来賓の方々から年頭の祝辞をいただきました。

会場内では女性消防団員による地震や煙の体験コーナーが設置されました。また、比企専職組合の方々による迫力の梯子乗りが行われ、多くの観客の目を惹きつけていました。



文化財防火訓練



1月26日、日本赤十字社埼玉県支部旧社屋において文化財防火訓練が実施されました。第一分団第一部・第三部が参加し、出動訓練、火災防衛訓練、消火器取扱説明、住宅用火災警報器の説明を行いました。

防火パレード



3月3日、晴天の中、防火パレードが盛大に行われました。このパレードは、「春季火災予防週間」に行われる特別警戒の一環で、消防車両による火災予防広報を実施することにより、住民がより一層火災予防意識の高揚を図ることを目的としています。嵐山消防団からは今回は第二分団第一部が参加しました。

消防団事務局紹介

消防団事務局は、昨年度に引き続き、柏保厚一消防司令補が担当になります。